

第3回 パソコン文字通訳シンポジウム

『文字通訳と聴覚障害者の知る権利』
～どのような文字通訳が権利を守れるか？～

日時 2013年1月6日(日)12:30～16:00

場所 板橋区立グリーンホール 601号室
(都営地下鉄三田線 板橋区役所前から徒歩5分)

定員 100名(事前登録制)

会員 無料

非会員 500円

〈主催〉全国文字通訳研究会

(本会は、聴覚障害者の求める文字通訳の研究・普及の推進に寄与することを目的とした当事者団体です。)

〈後援〉特定非営利活動法人 日本遠隔コミュニケーション支援協会

■■■情報保障として遠隔パソコン文字通訳と手話が付きます■■■

〈ホームページ〉 http://www.nck.or.jp/shiryous2t/130106sympo/130106sympo_shiryou.htm

12:35～13:05

【第1部】基調講演 「文字通訳と聴覚障害者の知る権利」

長谷川洋 氏 (当事者)(全国文字通訳研究会理事長、元筑波技術短期大学助教授)

13:05～14:50

【第2部】提言 「どのような文字通訳が権利を守れるか？」

招待提言者 越智大輔氏 (当事者)(社団法人・東京都聴覚障害者連盟事務局長)

一般公募提言者 (提言者募集中)

15:00～15:45

【第3部】パネルディスカッション

パネリストは、第1部・第2部の提言者

会場の参加者の方からも意見をいただきます。

16:00 閉会

【開催にあたって】

2006年に障害者権利条約が国連で採択され、その中で「全ての人権と基本的自由が普遍的である」ことが再確認されています。聞こえないから、話の一部が分かれば十分であるとか、話の重要な部分を別の人が選んで、それだけを伝えるということは、上記の考え方に反することは明らかです。聞こえなくても、基本的に話の全てを知る権利を持っており、話の中で、どこが重要で、どこが重要でないかは、聞く人が選ぶ権利を持っているはずですよ。

私たちは、「文字通訳」という言葉を使っています。音声言語の通訳で、話の一部だけしか伝えられないとか、重要な部分を通訳が選択して、それだけを伝えることは許されません。すなわち、「通訳」という場合、言葉は違ってても、話されたものと、通訳されたものが等価であることが求められます。一方、今までの要約筆記では、再構築とか、無駄な枝葉のそぎ落としとか、要約ということが最も大切な技術として尊重され、等価であるかどうかという点が軽視されてきたのではないのでしょうか？

手書き要約筆記の場合、書く速度は話す速度の1/5であり、やむを得ず、要約をしてきた。しかし、連係入力可能なパソコン文字通訳が出現し、殆ど話されたままを入力することが可能になったにも拘わらず、昨年厚生労働省から通知された「要約筆記養成カリキュラム」では、基本は、パソコン文字通訳でも、連係入力ではなく一人入力となっており、要約方法の学習が中心となっています。このため、資格試験では、1人要約入力の技能を評価することとなり、将来、連係入力の技能を持った入力者がいなくなってしまう心配があります。

要約を求める聴覚障害者がいることも事実ですが、同時に、自分の聞く権利をきちんと保障してほしいと考える聴覚障害者もいることが軽く見られていると言わざるを得ません。裁判員制度、政見放送など、文字での情報保障が聴覚障害者の権利を守る上で、大きな役割を果たす機会が増えつつあります。

「どのような文字通訳が聴覚障害者の権利を守れるのか?」、また、「そのような文字通訳者を養成するにはどのようにしたら良いのか?」、パソコン文字通訳のあり方について、皆さんと一緒に考えたいと思っています。

【参加者申込み】

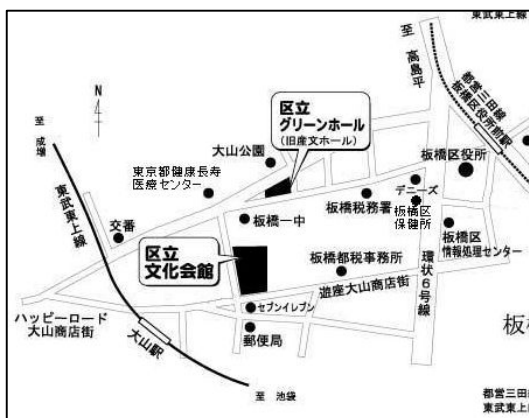
以下のフォーマットに記入して、メールをお願いします。

2012年12月21日(金)21:00 締切り (定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。)

≪申込先≫ PCspeech2text_sympo130106@yahoo.co.jp

第3回パソコン文字通訳シンポジウム参加申込書

- ・氏名 ⇒
- ・メールアドレス(携帯メール可) ⇒
- ・住所(郵便物が届く住所) ⇒〒 県
- ・所属団体・学校名など ⇒
- ・関係(該当する項を残してください。複数可) ⇒当事者/支援者/派遣関係/学校関係/行政関係/その他()



≪会場≫

板橋区立グリーンホール

東京都板橋区栄町 36-1

TEL:03-3579-2221 FAX:03-3579-2295

都営地下鉄三田線「板橋区役所前」下車徒歩5分

東武東上線「大山」下車徒歩 5 分

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/002/images/img_2279_1_1.jpg.html